

前 会 長 金田淳一

本年9月4日、神戸学院大学ポトアイルランド第一キャンパスで行われた大学行政管理学会(以下「JUAAM」という)の定期総会において、当方の2年間の会長任期が終了した。兵庫県にも緊急事態宣言が発出している中、神戸学院大学の厚意により対面で実施させていただいた。対面での出席者は新・旧三役、会場校関係者等を中心に約30~40人程度、大半の会員は委任状を事前に提出していただいたうえで、そのときの会長挨拶の最後の箇所では、吉武博通東京家政学院理事長(元筑波大学教授)の言葉を引用しながら、以下のように呼び掛けた。

吉武先生は大学経営について、「まず実践からスタートし、それを自分なりに体系化したうえで、学術知と照らし合わせて、より良い実践知を高め、次なる実践に結びつけることが大切である。そこにJUAAMの役割があるのではないかと述べられた。実践から

理論へ、理論から実践への往復作用が当学会に求められていると強く感じた。それともう一つ、先生は別の席で、「大学職員がこれから真の意味で活躍していくためには、所属の組織文化・風土など目に見えないものを変えていくことが必要ではないか」とも言われている。一人ひとりの職員が力をつけていくことが必要不可欠であるが、その力を発揮させる組織の土壌をどのように作り上げていくのか、問われている気がしてならない。

オンライン打合せを度々開催し、意思疎通をとにかく図った。打合せはこの2年間で合計何十回にも及んだ。活動の本格始動は2020年4月に遡り、当方が会長メッセージとして、「対面での活動が制限され、精神的ストレスが溜まる中、むしろピンチをチャンスにする発想で、これまでの自分を見つめ直す好機としたいかがでしょうか」というような内容で全会

然な姿であると。コロナ禍の最中であるからといって、活動できなかったは通じない。一歩でも半歩でもJUAAMの充実・活性化に資することは何かできないか、三役でまさに歩きながら考えてのスタイルで活動を進めた。大きくは4点、事業活動の方向性を提示した。第一に研究会・研究グループの活性化、第二に社会的発信力の強化、第三に若手・中

いは、全役員や研究会代表者が参加する、「JUAAMの活性化に関するオンライン懇談会」を開催するなど、様々な意見を吸い上げながら、先日の定期総会では、定款の改正による入会資格の緩和を始めとして、ささやかながら結果を示すことができた。小さな事柄ながらも、実行できたことは私なりの自信も繋がった気がする。さらに社会的に求められて

研究者を中心として、交流・連携をもっと深める必要がある。このことはコロナを言い訳にしてはいけないが、十分実行できなかった。また大学に留まらず、企業人などの交流も大に行うべきという気もしている。今般、評議員会の権限強化の動きを巡り、私立大学も大きな転機に立っている時期でもあり、1200人を超える大学職員を有する最大団体として

私立大学連盟の研修運営委員等活躍されている方にも就任いただいた。まさに多彩な人材の場にないばとの願いからだった。また、全国地区研究会の若手職員によるオンライン発表会を新規企画し、1回目は7月3日に実施した。全国4地区研究会の若手職員(39歳以下)が自分の業務を振り返り(医療系大学のワケチン接種の体制構築やベテラン経理職員の業務改善

最後(第四)に事務局体制の整備であり、1200人を超える会員を有し、それに伴う事務局業務も複雑化している状況下、業務負担がこれ以上多くなる

以上多くの業務を担った。事務局局長や事務局局長補佐の尽力により、業務の一部、会計業務の委託化など当面の改革に踏み出すことができた。

せびと眺めた。JUAAMのウェブサイトM初代副会長(元早稲田大学)の村上義紀氏との出会いに関して詳述されているが、そのエピソードからはその方がどのような思いや意味合いを引き出されたのか、ひしひしと伝わってきて感慨深い。一員に戻り、肩の荷を下ろしホッとしているが、これからも学び続ける姿勢を堅持して、自分なりにJUAAMと付き合っていきたい。



会員との「対話」を大切に 会長の任期を終えて

堅・女性会員の育成、第四に事務局体制の整備であったが、「何、暢気なことを言っているのか、オンライン切替えの業務で毎日遅くまで仕事している人のことも考えたらどうなのか」との反応もSNS上であったようだった。だが当方はメッセージを発信して良かったと思っていた。厳しい反応があるのは当然、多様なメンバーの減少などが目につく状況で、それらに

ある。好意的な反応もあったが、「何、暢気なことを言っているのか、オンライン切替えの業務で毎日遅くまで仕事している人のことも考えたらどうなのか」との反応もSNS上であったようだった。だが当方はメッセージを発信して良かったと思っていた。厳しい反応があるのは当然、多様なメンバーの減少などが目につく状況で、それらに

いる喫緊のテーマをJUAAM全体で検討する場と置き、常務理事会の下に置かれた研究プロジェクト(準備会)の世話人会に1人でも多く入会してもらわなくてはならない。あまり好きな言い方ではないが、入会のメリツトをより感じてもらえるようにすることも求められている。今期の役員

はと念願している。第三に若手・中堅および女性会員の育成であるが、まずこのような方々改革提案など、壮大な内容でも構わないと考えている。第2弾は本年11月6日実施であるが、どんな発表が行われるか大変楽しみにしている。昨年11月から当方の発案で始めたものであり、ひと月に2人程度、

の提案など)、想像以上に質の高い発表が行われた。今後は業務改善の事例のみならず、自大学の「会員リレーコラム」の欄である。JUAAMには多士済々の方が集まっていることを外部の方に認識してもらいたいため、昨年11月から当方の発案で始めたものであり、ひと月に2人程度、

の提案など)、想像以上に質の高い発表が行われた。今後は業務改善の事例のみならず、自大学の「会員リレーコラム」の欄である。JUAAMには多士済々の方が集まっていることを外部の方に認識してもらいたいため、昨年11月から当方の発案で始めたものであり、ひと月に2人程度、

の提案など)、想像以上に質の高い発表が行われた。今後は業務改善の事例のみならず、自大学の「会員リレーコラム」の欄である。JUAAMには多士済々の方が集まっていることを外部の方に認識してもらいたいため、昨年11月から当方の発案で始めたものであり、ひと月に2人程度、

の提案など)、想像以上に質の高い発表が行われた。今後は業務改善の事例のみならず、自大学の「会員リレーコラム」の欄である。JUAAMには多士済々の方が集まっていることを外部の方に認識してもらいたいため、昨年11月から当方の発案で始めたものであり、ひと月に2人程度、

